

藤川の里 だより

発行/ (社福) 愛知県厚生事業団 ～おもいやりを かたち～
愛厚藤川の里 (障害者支援施設) 平成28年
〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入1-2 1月1日発行
TEL 0564-48-6130 第102号



今年もよろしくお願いします！



あったかい日の散歩、嬉しいな！



初詣に行ってきました。

今年度も、施設の運営については、ご家族・行政・地域の方々の大変暖かく積極的な協力により、これまで無事運営ができており、利用者・職員一同大変深く感謝しております。

特に今年度は、この歴史がある藤川町を理解しようと、地元総代であり学区の総代会長である鈴木忠様に職員向け勉強会を開いていただき、今後職員一同、地域に還元・役立つ何かの活動をしようにと気持ちを高め、活動になりました。

時の経つのは早いもので、もう平成二十七年度も年度末が近づいてまいりました。それとともに、季節がら施設においては最も注意が必要であるインフルエンザなど感染症の発生が気になり、季節でもあり、利用者の方及び職員の健康チェック等、予防対策をしっかりと行っているところです。

所長 大原 好夫

皆様に支えられて



今後、多くの皆様から頼られる施設作りに努めていく所存ですので、ご支援、ご協力下さいますようお願いいたします。

利用者満足度調査についての結果

よりよいサービスの提供をめざし、施設を利用されている、利用者には毎年1回、満足度調査を実施しています。

①	引き続き、ここで生活していきたいと思えますか。	思う 24	思わない 3	無回答 33
②	食事に満足していますか。	満足 28	不満 4	無回答 28
③	職員の対応に満足していますか	満足 29	不満 0	無回答 31

・美味しい物が食べたい、外出したい、面会に来てほしい、など意見が多くありました。その反面、5割以上の方が、「無回答」となっています。

・意思表示が困難な利用者さんに対しても、支援者側の感受性を高め、真摯に向き合うことが必要になります。

(次長兼サービス管理員 森)

新規利用者さん紹介 大竹 恵美子さん



みんなと仲良く、生活できています。春になって、暖かくなったら、いろいろお出かけしたいな～

平成27年8月10日入所

編集後記

皆さん、よい新年を迎えられましたでしょうか。表紙の写真は、パワースポットで有名な、一畑山薬師寺です。自分も利用者さんと一緒に、お参りしてきました。

施設がある藤川地区では、歴史的にも興味深い場所で、江戸時代に栄えた「藤川宿」や松尾芭蕉も詠んだ、幻の「むらさき麦」など見ることができます。

暖かい季節になりましたら、是非、藤川の町並みを散策してみてください。それでは、また春にお会いしましょう。

広報委員 三輪

施設内の食堂をリフォームしました。

清潔な身だしなみを保てるようにと、食堂内の空きスペースに新しく手洗い場を増築しました。

これからの季節は風邪やインフルエンザが流行ってくるので、この手洗い場を使うことで感染予防に努め、清潔な手で食事をしていきたいですね。(指導員 鈴木)



車椅子の方でも、使いやすい高さです。

寄付物品の紹介

☆(株)林商店 移動理美容たんぽぽ 様



「車イス 5台」

利用者の平均年齢も52才と高齢になってきて、車椅子を利用する機会も増えていきそうです。

☆ 中部善意銀行 様

11月 前川清・藤あやこ 特別鑑賞券

コロッケ特別鑑賞券

12月 プロジェクター寄贈 サンタクロース慰問

行事予定

1月

七草粥(7日)

ドライブクラブ(14・19日)

2月

節分会(2日)

職場研修(25日)

3月

ひな祭り食(3日)

家族会役員会(12日)

職員お別れ会(31日)



個別支援の取り組み紹介

😊 チャレンジについて

現状の午前活動は、生産活動として箸入れ作業、個別活動として1名が、ペットボトルのキャップ入れ、車椅子使用者、高齢者は塗り絵、DVD鑑賞、その他の利用者は訓練棟で運動を行っています。活動内容については職員主体で決めている状況で利用者主体とした活動にするには、どうしたら良いかと考え、少人数のグループ分けをすることで利用者に適した、無理のない活動を提供することにしました。

3段式玉入れ台は、車椅子利用者でも、玉入れをする事ができ、唱歌カルタは高齢者が聴き口ずさむだけでも楽しい時間がすごせるようにと物品を購入しました。少しずつですが集中し取り込める時間が増やせることで精神的安定を図れ、問題となる突発的行動の減少に繋がっていきたいと思います。

活動が始まって間もないですが、「あんなことが出来るんだ。」「すごく集中している」と新たな発見もあり、職員は慌ただしくしている中、そんな姿を見ると思わず立ち止まり、利用者から笑顔もらっています。（生活支援主任 八木）

< 三段玉入れの活動 >

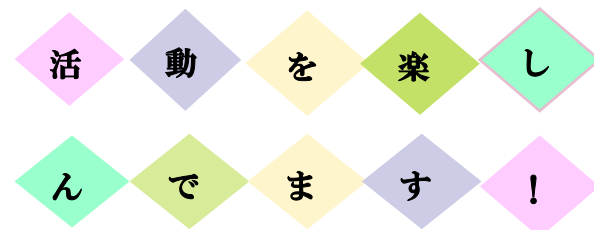


😊 TEEACCHプログラムについて

TEEACCHプログラムとは、望ましい行動をとるための道筋を絵や写真をカードに記すことで視覚的にわかりやすく提示し、分かり易い環境を作り出すことです。藤川の里では毎日の日課の流れをシンプルなイラストとともに掲示してみたり、携帯サイズのカードにしたものを使って言葉だけでなく視覚にも訴えるコミュニケーションを実践しています。

（生活支援員 大塚）

< ペットボトルの色分け >



😊 行動対応表について

行動障害のある利用者様に対して、職員個々で違う対応をすることがあり、利用者様が混乱して不適切な行動が強く出てしまう事がありました。

そのため、一つの行動に対し、どの職員でも同に対応ができるよう対応の仕方を統一し表にまとめ、利用者様が職員個々の違う対応で混乱する事を防ぎ、穏やかに生活できるよう支援をする事を目的に「行動対応表」を作成しました。

現在、男女6名の方に対し「行動対応表」に基づいた対応を行っています。

（生活支援主任 田嶋）

施設内では構造化の仕組みが取り入れられています。（絵カード）



秋 家族交流会



10月18日(日)に秋の家族交流会を行いました。

今年のアトラクションは芸歴50年のミスターカトウ様によるマジックショーです。

ユーモア溢れる軽妙な話術にのせて繰り広げられる数々のマジックに、みなさんの目が点に・・・途中でマジックの種明かしのコーナーがありました。一緒にやってみてできたときの嬉しそうな顔が印象的でした。（指導員 板谷）

豊田ふれあいスポーツ大会



10月25日(日)、ふれあいスポーツ大会に参加させて頂きました。チームごとに分かれたTシャツを着用し、いつもと違った雰囲気じゃンプしながらボールを打ち返したり、必死な表情をみせながら競技に参加されていました。

後半は歌に合わせて踊ったりと、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

地域行事に参加する事で普段みる事のできない表情を知ることができるので、とても素敵な機会であると感じました。（生活支援員 荒河）



成年後見制度研修会 12/5(土)



家族としては「親・介護者なき後」になると、財産の事や、高齢施設に移るときの契約行為は誰が行うのか？など不安を感じています。藤川の里の利用者の平均年齢は52才を超えてきており、家族も高齢になってきています。今回講師の前田さんより、成年後見制度の利用手順や、メリット（権利擁護）、デメリット（書類の多さ）を話してもらい、家族もより一層、「成年後見制度」について理解を深めることができましたと感じています。「親亡き後は親在るうちに」ではありませんが、自分の子供、兄弟の権利を守るために何ができるか、一緒に考えていく必要があります。（家族会会長 横山）

夏まつり(7月)



口から火🔥が！！思い出に残る夏祭りになりました。

わくわく外出(10月)



熱田神宮へ家族と一緒に参り。

フライングディスク(11月)



藤川の里では、フライングディスクに力をいれています。

